

肥満症診療ガイドライン 2022 正誤表

記載に誤りがありましたので、お詫びして下記の通り訂正いたします。（2023.5.10 更新）

現在学会ウェブサイトで開催中の PDF では、すべて修正されています

| 訂正箇所 | 誤 | 正 | 刷数 |
|-------------------|--|---|-------|
| P.74 左段下から 9 行目 | 2022 年の診療報酬改定では、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の適応に、6 カ月以上の内科治療によっても十分な効果が得られない BMI 32.0～34.9 の肥満症および HbA1c 8.0%の糖尿病患者に算定が改定された。ただし、算定条件では、高血圧症（6 カ月以上降圧薬による薬物治療を行っても管理が困難な収縮期血圧 160 mmHg のものに限る）、脂質異常症（6 カ月以上スタチン製剤などによる薬物治療を行っても管理が困難な LDL-C \geq 140 mg/dL または non-HDL-C \geq 170 mg/dL のものに限る）、閉塞性睡眠時無呼吸症候群（AHI 30 の重症のものに限る）のうち、2 つ以上を合併している患者に限定され、臨床的に適応が拡大されていないのが現状である。 | その後 BMI の範囲は拡大され、最新の 2022 年の診療報酬改定では、6 カ月以上の内科治療によっても十分な効果が得られない BMI 32.0～34.9 の肥満症患者も対象となった。ただし、算定条件では、①HbA1c 8.0%の糖尿病、高血圧症（6 カ月以上降圧薬による薬物治療を行っても管理が困難な収縮期血圧 160 mmHg のものに限る）、脂質異常症（6 カ月以上スタチン製剤などによる薬物治療を行っても管理が困難な LDL-C \geq 140 mg/dL または non-HDL-C \geq 170 mg/dL のものに限る）、閉塞性睡眠時無呼吸症候群（AHI 30 の重症のものに限る）のうち、2 つ以上を合併している患者に限定され、臨床的に適応が拡大されていないのが現状である。 | 1,2,3 |
| P.103 食事療法 3 行目 | ガイドラインライン | ガイドライン | 1 |
| P.104 左段 上から 6 行目 | と報告もある ⁴⁶⁾ 。 | との報告もある ⁴⁶⁾ 。 | 1 |